様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	東京純心大学
設置者名	学校法人東京純心女子学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信			15	15	13	

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.t-junshin.ac.jp/univ/col/staff.html

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	東京純心大学
設置者名	学校法人東京純心女子学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://ec2-35-76-126-153.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com/univ/wp-content/uploads/yakuin_meibo_R8.6.24.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	宗教法人代表役員	令和７年６月～ 令和11年６月	当学校法人の設立母体である法人の代表者であることから、当学校法人のミッション等に多大な影響を与えています。設立母体の視点から中長期的な学校法人の価値向上に尽力することを期待しています。
非常勤	会社顧問	令和７年６月～ 令和11年６月	長年にわたり実業界で活躍されたうえに、他の学校法人で理事長も務めた経験があり、経営全般に加えて学校経営にも知見を有していることから経営全般への適切な助言を期待しています。
非常勤	会社役員	令和７年６月～ 令和11年６月	実業界で活躍されたうえに、他の学校法人で理事を務めた経験があり、学校経営に知見を有し

			ていることから経営全般への適切な助言を期待しています。
非常勤	税理士	令和 7 年 6 月～ 令和 11 年 6 月	本学園の高等学校の卒業生で、税理士の資格を有していることから、とりわけ会計面での監督機能を高めることを期待しています。
非常勤	弁護士	令和 7 年 6 月～ 令和 11 年 6 月	弁護士資格を有しており、法律の専門家として当学校法人の経営の透明性・公平性を高めるために助言等をいただくことにより、理事会への監督機能を高めることを期待しています。
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京純心大学
設置者名	学校法人東京純心女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

シラバス作成については、授業担当教員に向けて「2026 年度シラバス作成に関する注意事項」を作成し、前年度１月～2 月の約２ヶ月の期間で作成完了している。科目担当者により完成したシラバスは、学内学務委員会委員により、注意事項に沿ったシラバスであるか否か第三者による確認作業を行い、新年度 4 月に PDF データにて公表している。

配置された授業科目のシラバスは、授業の概要、授業の到達目標、授業計画、授業外学修（予習・復習・課題等)、成績評価等明示している。

シラバスは、学生に授業内容・授業計画ほか、必要な学習量、予習、復習を事前に認識させているほか、課題提出後のフィードバック方法についても明確に示し、シラバスの利用促進を促している。

授業計画書の公表方法	https://www.t-junshin.ac.jp/univ/cur/syllabus.html

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

単位認定については、学則第 23 条から第 29 条に明確に定め、ホームページ及び学生便覧に公表し、適切に運用している。

成績評価は、「秀・優・良・可・不可」の評語によって表している（一部「合」「否」)。評点は以下の表となっている。

評点	評語	合否
100～90	秀	合格
89～80	優	
79～70	良	
69～60	可	
59 以下	不可	不合格
無評価	失格	無評価

評語	合否
合	合格
否	不合格

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

両学科共に、学生への履修支援、奨学金・特待生制度の選考、退学勧告等に役立てる指標としている。その他、こども文化学科においては、保育実習の履修の選考基準にも活用している。

また、各学期初めに実施しているガイダンス時の履修指導やアドバイザーによる個別相談、学修指導等の機会に活用している。

成績の状況が数値化され、学生は自己の学修成果や到達度を把握でき、主体的な履修計画や学習意欲の向上につなげている。

公表方法については、各学期終了後、学生及び保護者へ配付する成績表にGPAを明記し、単位修得状況とともに学修の水準を学生･保護者が確認できるようにしている。

GPAの算出方法は以下のとおりである。

$$\mathrm{GPA(Grade\ Point\ Average)} = \frac{(\text{【秀】の修得単位数}\times 4) + (\text{【優】の修得単位数}\times 3) + (\text{【良】の修得単位数}\times 2) + (\text{【可】の修得単位数}\times 1)}{\text{履修登録した単位数（不合格になった科目含む）}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.t-junshin.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R7zikotenkenhyokasyo.pdf https://www.t-junshin.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R7_junshin_GPA_report.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学では、大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、各学科にもディプロマ・ポリシーを定め、学生便覧及びホームページにて公表している。

卒業・修了認定等は、修業年限を満たし、各学科で定められている所定の卒業要件単位（必修科目等を含む）に掲げた科目を履修し、看護学部では合計126単位以上を修得しなければならないと定め、厳正に適用している。

単位認定及び卒業・修了認定においては、各学部において開催される成績会議、学内委員会学務委員会による卒業認定会議、教授会の審議を経て厳正な認定を行っている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	・2026年度　学生便覧（紙媒体） ・大学ホームページ「看護学科の教育内容」 https://www.t-junshin.ac.jp/univ/dep07/idea.html

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	東京純心大学
設置者名	学校法人東京純心女子学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://ec2-35-76-126-153.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com/univ/wp-content/uploads/R07_balance_sheet2025.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://ec2-35-76-126-153.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com/univ/wp-content/uploads/R07_activity_balance2025.pdf
財産目録	ホームページ http://ec2-35-76-126-153.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com/univ/wp-content/uploads/R07_inventory2025.pdf
事業報告書	ホームページ https://www.t-junshin.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R07_TokyoJunshinReport2025_2.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページ（事業報告書 69 ページ） https://www.t-junshin.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R07_TokyoJunshinReport2025_2.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法： https://www.t-junshin.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R7zikotenkenhyokasyo.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.t-junshin.ac.jp/univ/col/jihee.html

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　看護学部

教育研究上の目的（公表方法：
・2026 年度学生便覧（紙媒体）　・東京純心大学 2027 大学案内（紙媒体）
・大学ホームページ　https://www.t-junshin.ac.jp/univ/dep07/department.html

（概要）
看護学部看護学科は、生命を持つものはかけがえのない存在であると認識し、他者を思いやる心を持つ看護専門職として社会に貢献でき、生涯を通して自己の可能性に挑戦し続けられる人材の育成を目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：2026 年度学生便覧（紙媒体））

（概要）
本学では、大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、各学科にもディプロマ・ポリシーを定め、学生便覧及びホームページにて公表している。
卒業・修了認定等は、修業年限を満たし、各学科で定められている所定の卒業要件単位（必修科目等を含む）に掲げた科目を履修し、看護学部では合計 126 単位以上を修得しなければならないと定め、厳正に適用している。

単位認定及び卒業・修了認定においては、各学部において開催される成績会議、学内委員会学務委員会による卒業認定会議、教授会の審議を経て厳正な認定を行っている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：
・2026 年度学生便覧（紙媒体）
・ホームページ　https://www.t-junshin.ac.jp/univ/dep07/department.html

（概要）
本学の教育課程は、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、ひとりの人間としての成長を支える「基礎」科目群と専門分野の知識・技術を習得する「専門」科目群とにより編成している。
「専門」の科目群は「看護の基礎」「看護の実践」「看護の発展」の 3 つの科目群から構成されており、学年進行に伴い基礎から応用へと段階的に科目を配置している。
また、4 年間を通し学内で学んだ教養と専門の基礎知識、看護技術をもとに連携医療機関や地域の福祉施設等で学修の進度に適応した実習を実践している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：
・令和 9 年度学生募集要項（紙媒体）
・大学ホームページ　https://www.t-junshin.ac.jp/univ/dep07/department.html

（概要）
本学の建学の精神と教育理念に共感し、科学的思考力及び課題解決能力を持つ人物でさらに次の適性、能力を有する人物を受け入れる。
1. 人間及び健康への支援に関心が高い人
2. 他の人と協力して物事に取り組むことができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
学生便覧(2026 年度)　P5
ホームページ　　https://www.t-junshin.ac.jp/univ/col/summary.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
看護学部	－	12 人	8 人	7 人	2 人	2 人	31 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	78 人	78 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.t-junshin.ac.jp/univ/col/staff.html

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

ティーチング・ポートフォーリオ研修、生成AI研修会、ハラスメント防止研修会、科研費説明会、ルーブリック研修、不正防止研修会　等の実施

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
看護学部	80 人	66 人	82.5%	320 人	302 人	94.4%	-人	2 人
合計	80 人	66 人	82.5%	320 人	302 人	94.4%	-人	2 人

（備考）

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
現代文化学部	14 人 (100%)	1 人 (7.1%)	11 人 (78.6%)	2 人 (14.3%)
看護学部	62 人 (100%)	2 人 (3.2%)	52 人 (83.9%)	8 人 (12.9%)
合計	76 人 (100%)	3 人 (3.9%)	63 人 (82.9%)	10 人 (13.2%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
聖マリアンナ医科大学病院、幼稚園、保育所

（備考）現代文化学部は、令和５年度より募集停止、令和７年度生が最終卒業業年度。

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業内容・授業計画ほか、必要な学習量、予習、復習、課題提出後のフィードバック方法等シラバスに明示している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
単位認定については、学則第23条から第29条に明確に定め、ホームページ及び学生便覧に公表し、適切に運用している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
看護学部	看護学科	126単位	㊒・無	年間48単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ
1)校地、校舎等の施設及び設備
https://www.t-junshin.ac.jp/univ/col/campus-map.html
2)学生の教育研究環境
https://www.t-junshin.ac.jp/univ/cur/event.html
https://www.t-junshin.ac.jp/univ/cur/handbook.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
看護	看護	1,100,000 円	150,000 円	530,000 円	教育充実費、実技実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）学生の修学に係る支援（教務・福利厚生・学生相談・経済的支援等）については、全学的に学務委員会及び学生生活委員会が所管し、事務局においては学務学生課（職員５人、非常勤２人）を主担当として業務を行っている。学務委員会及び学生生活委員会は月１回の開催を定例とし、必要に応じて臨時委員会を開催し臨機応変に修学及び学生支援に関する事案について審議を行い、学生のニーズに対応している。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要）学生の社会的・職業的自立に関する指導のために組織されている学生生活委員会及び基盤教育センターでは、教員や外部機関と連携して各種ガイダンスや対策講座を開催し、社会的・職業的自立に向けた学生の活動をサポートしている。 その他、個別対応として、履歴書の添削や模擬面接等を実施している。 また、看護師国家試験対策及び看護系就職ガイダンスを定期的に実施し、一人一人の進路選択について丁寧に対応している。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生の健康の保持・増進を目的に、健康支援に関する専門的業務を行うため、健康サポートセンターを設置し、応急措置及び救護支援の他、定期健康診断、学内の環境衛生改善及び感染症予防対策等を行っている。また、同センターは保健室機能とカウンセリング・ルームを兼ねており、メンタルヘルスに関する教育及び相談も実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：
・紀要（目次は大学ホームページにて公表。紙媒体は大学図書館へ文献複写依頼の申請が必要。https://www.t-junshin.ac.jp/univ/gar/bulletin.html）
・ホームページ
https://www.t-junshin.ac.jp/univ/information/dep07/
https://www.t-junshin.ac.jp/univ/cla/kangocenter.html

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。